

國學院大學学術情報リポジトリ

ごあいさつ

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 笹生, 衛 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00002330

いあいさつ

学術資料センター長 笹生 衛

國學院大學学術資料センター(神道資料館部門)では、平成二十六年度より研究事業「祭祀・祭礼の変遷に関する研究と関連資料の整理分析」を進めています。

平成二十七年度は、千葉県立美術館で行なわれた「香取神宮―神に奉げた美―」に本学所蔵の『香取神宮神幸祭絵巻』を出品いたしました。同絵巻については、これまで研究を進めてきましたが、これを機会として、さらに進め、『香取神宮神幸祭絵巻』には「使う絵巻」、「観る絵巻」の二系統あること、後者の成立には元禄十三年(一七〇〇)に江戸幕府によって行われた香取神宮の主要な社殿の造営が関わること、さらに個人蔵の『香取神宮境内古絵図』は後者の祖本と対で制作されたことなどが明らかとなりました。これらは、「観る絵巻」に属する本学所蔵の『香取神宮神幸祭絵巻』の諸本の中での位置づけを理解する上で、大きな収穫であり、「香取神宮―神に奉げた美―」の展示図録(千葉県立美術館、二〇一五年)においても論文として示しました。本号には、その概要を収めています。

また、『香取神宮神幸祭絵巻』の研究と平行して、『東都歳事記』を活用した江戸の祭(天下祭・天王祭)についての調査・研究も進めました。さらに、祭礼文化の原形は京都において発生したと考えることができ、そこでの御旅所祭祀について理解することも重要です。この点は『年中行事絵巻』に描かれる祭礼の様子と比較しながら、各時代、各神社の祭礼行列の中で「変わるもの」と「変わらないもの」の検討が続いています。

以上のように、本年度は祭礼文化の関東地方への伝播について、いくつかの研究成果が得られました。「祭祀・祭礼の変遷に関する研究と関連資料の整理分析」において、祭礼文化の伝播と変容の過程を追うことは研究テーマの一つとなっています。本号から、祭礼文化の多様性や変容などを読み取っていただければ幸いです。

なお、香取神宮の周辺調査に当たっては、香取神宮に種々ご協力、ご配慮いただきました。ここに記して感謝申し上げます。